お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止 **器具の改造や指定部品以外の交換はしない。**（火災・感電・落下の原因）	禁止 **器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。**（火災・感電の原因）
禁止 **器具やランプを布や紙などで覆わない。**（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）	禁止 **ランプ交換・お手入れのときは電源を切る。**（感電の原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止 **お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。**（火災・感電の原因）	禁止 **節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯しない。**
禁止 **ランプに塗料などを塗らない。**（ランプが過熱・破損してけがの原因）	禁止 **ランプを落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。**（ランプが破損してけがの原因）
禁止 **器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。**（過熱して火災の原因）	厳守 **明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。**
禁止 **点灯中のランプから近距離の所で長時間の作業をしたり、ランプを直視しない。**（皮膚炎症や高輝度のため目を痛める原因）	厳守 **ランプの外管バルブが割れた場合、直ちに電源を切り、ランプを交換する。**（紫外線による障害や、破損落下によりけがの原因）
禁止 **器具表示の指定ランプ以外は使用しない。**（過熱して火災の原因）	厳守 **ランプが点滅を繰り返したり正常に点灯しない場合、直ちに電源を切り、ランプを交換する。**（火災の原因）

ランプ交換・器具の清掃　⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

ランプ交換

適合ランプ（別売）
メタルハライドランプ
ＭＦ２５０ＬＥ／ＢＨ

清掃

ランプ交換や清掃の場合は、ラッチで保護カバーを開閉する。

○ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。
○反射板の汚れは、やわらかい布でふきとってください。

⚠注意

○**点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない**（高温のためやけどの原因）
○**ランプをソケットに確実に取付ける**（取付けが不完全な場合落下の原因）
○**使用済みのランプを不用意に割らない**（ガラスが飛散してけがの原因）

⚠警告

器具・ランプを水洗いしない（火災・感電の原因）

照明器具の寿命について

●**照明器具には寿命があります。設置して８～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。**
※使用条件は１日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より１年間です。ただし、器具内蔵の安定器は３年間です。
ランプなどの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置

⚠警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業統轄部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI
三菱 HID 器具

低温用器具

E762Z974H20

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

形名　**HG2501**

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また アフターサービスもできません。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止 **引火する危険のある雰囲気で使わない。**（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	禁止 **電源線を器具の外郭に直接触れさせない。**（過熱して火災の原因）
禁止 **器具取付けの際は電線を挟まない。**（絶縁不良により感電・火災の原因）	厳守 **施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。**
禁止 **配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。**（絶縁破壊により感電・火災の原因）	厳守 **ランプは必ず指定方向の範囲で使用する。**（指定以外で使用するとランプの破損・落下・けが原因）

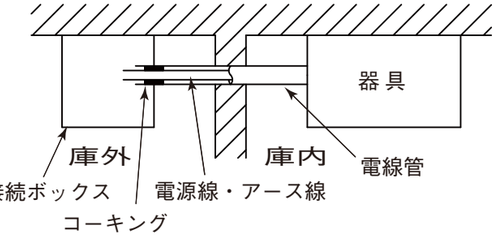
⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止 **使用温度範囲（－60℃～＋10℃）以外で使わない。**（過熱による安定器焼損や火災の原因）	禁止 **器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。**（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）
禁止 **表示された電源電圧（定格± 6%）・周波数以外では使わない。**（火災・感電の原因）	禁止 **傾斜天井、補強のない天井、レースウェイには取付けない。**（落下の原因）
禁止 **粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。**（落下・感電・火災の原因）	禁止 **器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。**（絶縁不良により感電・火災の原因）
禁止 **腐食性ガスの出る場所で使わない。**（劣化による落下の原因）	禁止 **狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。**（器具が過熱して火災の原因）
禁止 **水や湿気の多い場所、結露する可能性のある場所で使わない。**（火災・感電の原因）	

お願い

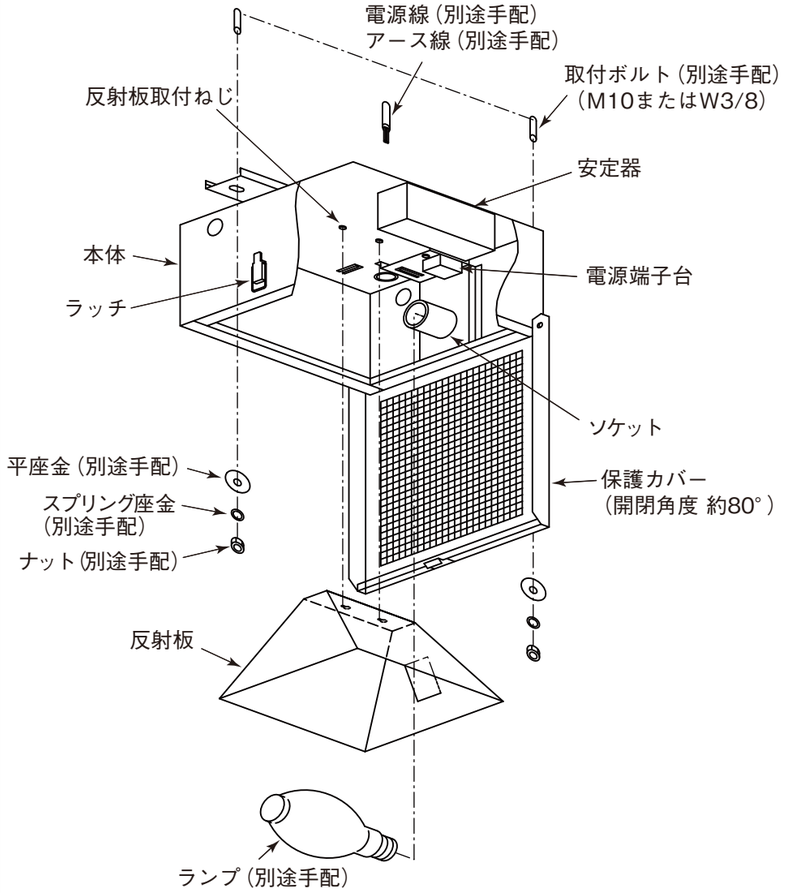
■施工期間中の作業照明は、別に仮設照明を設けてください。常温で使用すると安定器焼損や火災の原因となります。
■器具取付部外形よりも大きな固定された天井に取付けてください。器具傾きの原因となります。
■低温では、始動に時間がかかります（約60秒）。
■被照射面とは１m以上離してください。
過熱による火災の原因となります。
■退色を避けたい場所には使用しないでください。
被照射物が紫外線により退色、劣化することがあります。
■ケーブルの分岐接続は防水ジャンクションボックスをご使用ください。

■電線配管される場合は、庫外の暖気が庫内に流入しないように電線管内をコーキングしてください。
器具内に結露することがあります。



各部のなまえと取付けかた

⚠警告 **器具の取付けは取扱説明書に従い行う**（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



1 取付前の確認

器具質量（8.5kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。

⚠警告

器具の取付けは、質量に耐える水平な天井に取付ける
落下の原因

2 器具本体を取付ける

（1）本体のラッチを外して保護カバーを開き、反射板取付ねじをゆるめ、反射板を外す。安定器部の包装材（段ボール）を取り除く。

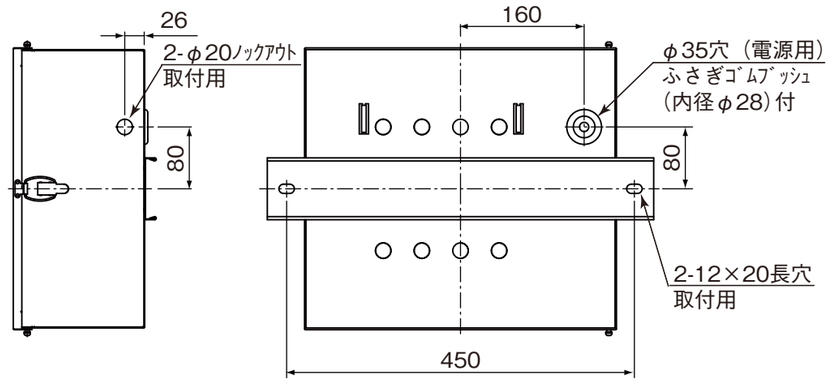
（2）電源線・アース線を器具本体の電源穴から引き込んでおく。

（3）２本の取付ボルト（M10 または W3/8）、平座金、スプリング座金、ナットを用いて、本体を確実に取付ける。

⚠警告

取付けが不完全な場合、落下の原因

[取付穴・電源穴]（単位 mm）



3 電源線を電源端子台に接続する

（1）電源線を丸型圧着端子を用いて、電源端子台のねじ端子に確実に取付ける。

推奨ケーブル：
600V 絶縁ゴムキャブタイヤケーブル（2PNCT）３芯同等以上

⚠警告

接続が不完全な場合、接続不良による発熱により火災の原因

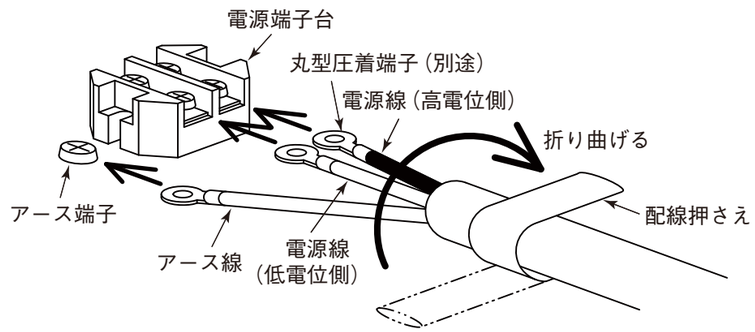
（2）アース線を丸型圧着端子を用い、アース端子に確実に取付ける。

⚠警告

アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
アース工事が不完全な場合、感電・火災の原因

＜Ｄ種（第３種）接地工事が必要です。

○電源端子台の容量は 20A です



⚠警告

送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する
容量を超えると電源端子台が過熱し、火災の原因

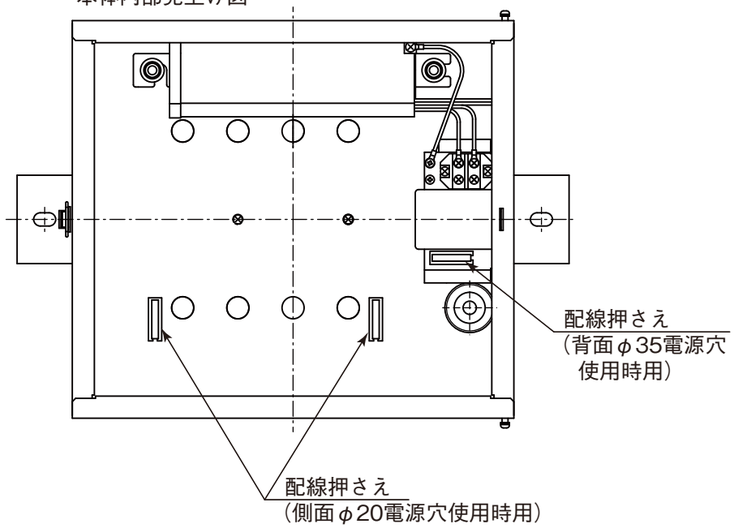
（3）電源線（アース線）が反射板に触れないよう配線押さえで確実に固定する。

⚠注意

電源線が反射板に触れた状態で使用すると感電・火災の原因

[配線押さえ位置]

本体内部見上げ図



4 反射板を取付ける

反射板を反射板取付ねじでしっかりと固定する。

⚠注意

取付けが不完全な場合、落下の原因

5 ランプを取付ける

ランプをランプソケットに確実に取付ける。

⚠注意

取付けが不完全な場合、落下、感電、火災の原因

6 保護カバーを閉じる

本体のラッチにて、保護カバーを閉じる。